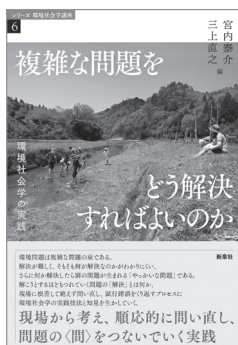


Book

協働取組のガイダンスとなる一冊

環境問題は多様で複雑な要素から成り立っている。何か解決したら別の問題が生まれ、解こうとするほどもつれていく。

その解決プロセスは、現場に根差して絶えず問い直し、試行錯誤をくり返すことで見いだされるといった、あらかじめ定式化された方法に沿ったスマートな問題処理とは対極にある、至って泥臭い営みである。



現実の問題に即して、立場の異なる人々が共に取り組むにはどうすればよいのか？

本書では様々な事例をもとに、実践に裏打ちされた「解決プロセス」を多角的に論じている。

シリーズ環境社会講座6

複雑な問題をどう解決すればいいのか——環境社会学の実践

宮内 泰介、三上 直之 編／新泉社（2024年3月）

定価 2,500円＋税

Website

生物多様性保全に貢献できる検索エンジン

エコ検索エンジン『KARMA』は、ウェブを閲覧することで生物多様性保全の貢献に繋がる検索エンジンである。

検索ページで表示されるスポンサーリンクからの収益を生物多様性保全に取り組むパートナー団体に寄付している。

また、特徴的なのは新しいタブを開く度に、背景にランダムで野生動植物の写真や動画が表示されるようになっており、次の検索が楽しみになる。

生物多様性保全に貢献したい。それがわかっているけど日常的に行動することは難しい。それでは日々の小さな行動を通して、生物多様性について想いを寄せてみるのはどうだろう。



KARMA

<https://karmasearch.org/>

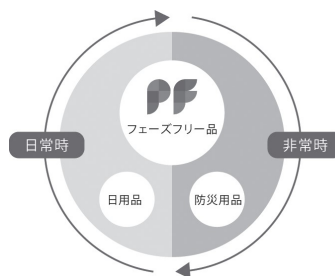
Tool

備えない防災“フェーズフリー製品（サービス）”のすゝめ

世界でも有数の災害大国である日本。地震や台風などの危機がくり返し発生し、その度に被害も起こっている。災害対応の重要性は理解しながらも、どこか他人事であったり、いつかやろうとつい後回しにしたりと具体的な備えへの行動にはなかなか移せないのが現状である。

『フェーズフリー』とは、「いつも（平常時）」と「もしも（災害時）」の垣根を越えて、どんな状況でも役に立つような商品・サービスである。

ふだん身のまわりにあり、日常的に愛着を持って利用し



ている商品やサービスがそのまま非常時にも利用でき、安全や安心を叶えてくれたら、災害を特に意識せずに暮らしていても、今より安全な社会になっていくはずである。

フェーズフリーデザイン事例集

<https://dcs.phasefree.net/>

PHASE FREE for the WORLD

<https://phasefree.world/jp/>

Website

子どもたちの未来の可能性を広げていくポータルサイト

コロナ禍以降、学校と家庭の両方において、子どもたちがインターネットを活用する機会が急速に普及している。

『Yahoo! きっず』は1997年に「子どもたちが安心して楽しくインターネットを利用できるサービスを提供したい」という思いから誕生したこども向けポータルサイトである。

子どもでも使いやすいUI、独自のフィルタリング機能による安全性、約3,200の豊富なコンテンツといった点から、多くの小学校現場でも調べ学習の検索エンジンとして使用されている。

2023年10月には、「SDGs」といったワードが検索上位に上るといった関心の高まりをうけ、よりよい社会をつくっていくための世界のアイデアや取組などをわかりやすく紹介するメディア「世界スイッチ」

を新たに創設。世界への関心を高めることで、自分の世界を広げることを後押ししている。

時代の変化に合わせて絶えず変化し、子供たちが安全に知恵や術を身につけられる情報の場としてこれからも期待したい。



Yahoo! きっず

<https://kids.yahoo.co.jp/>